文教委員会資料

令和５年２月２８日

庶務課

事務連絡

区立学校における一足制の導入について

１．一足制とは

　上履きを使用しないことにより、下足を履き替えることなく、校舎や校庭などの利用を可能とする施設運用制度

２．メリット

　①昇降口の混雑緩和　　　②休憩時間の最大限の活用

③来校者の円滑な移動 　④災害時の円滑な移動　など

３．課題とその対応策

（１）床の汚れ、水滴⇒床マットの工夫など

（２）長靴⇒置き場の工夫（廊下、バルコニーなど）

（３）衛生面（保健室、トイレ）⇒スリッパで対応など

（４）プール⇒更衣室まで土足とするなど

４．経過など

・導入済の学校への視察、ヒアリング

・モデル実施（鮫浜小）　※学校間で情報交換

・鮫浜小でのアンケート結果：導入に肯定的70～80％

〇肯定的意見：昇降口で混まない・お気に入りの靴を履くことができる・

上履きを毎週洗わなくてよい・保護者会の時に楽など

〇懸念事項：学校内が汚れるのではないか・同じ靴を履いていると蒸れるのではないかなど

　＜参考＞

・２３区では６区で導入実績あり

・港区では２６校中２４校で導入

５．今後について

　各校において、校庭の種類など状況が異なることから、モデル実施校におけるアンケート結果などを踏まえ、一足制導入の考え方について検討していく